

47期生 学年通信

Vol.07

2024.06.11 発行

★★ 中間考査が終わりました

5月下旬に、4日間の中間考査が行われました。

初めての高校の考査に「考査が行われる科目はどれですか?」「どのように出題されますか?」など、早くから生徒たちは積極的に質問へ来る姿を見せていました。

実施科目は、以下の9科目です。

【国語科】 現代の国語・言語文化

【数学科】 数 A・数 I

【理 科】 化学基礎

【地歴科】 歴史総合・地理総合

【英語科】 英コ I・論表 I

*生物基礎は実施されませんでしたが、1学期期末以降はすべて実施されます。

中学校時代とは違う知識量や思考重視の出題方法に、かなり苦戦した生徒もいるようです。一方で、日々の小テストや課題から傾向を見つけ出して、対策できた生徒もいました。

★★ 面談週間が実施されました

中間考査後の一週間は40分授業となります。学校全体の取り組みとして、放課後に、考査結果やこれまでの高校生活に関連した面談を、担任が順に行うためです。

考査前に記入した「定期テスト 目標設定＋振り返りシート」を活用しながら面談を行うクラスもあり、個人の生活事情や学習態度について、生徒に寄り添いながら、面談を実施することを心がけています。

1学年の全体の傾向として、中学時代から、「テスト前になったら、テスト用の勉強をする」という意識をもっている生徒がいるようです。

高校の学習量は、中学時代の比ではありません。1週間前や2週間前から「テスト用の勉強」をするのではなく、毎日の生活の中に、日々の授業の予習や復習を組み込み、「今学習している内容がテスト勉強でもある」という意識に切り替えることが必要です。

また、学習時間と部活動を取り組む時間との両立に、不安を抱き始めた生徒もいるようです。確かに、時間は有限のものです。だからこそ、時間を“つぶして”しまうことなく、時間をコントロールして、時間を自分を高めるために使ってもらいたい、と考えています。部活動は、学校でしかできない、「人との関りを学ぶこともできる時間」です。有限である時間を、どのように使えば、自分を高めることにつながるのか。担任の助言を通して、考える機会にしてほしいと思います。

★★ 今年度初の、席替えを実施するクラスも！

入学当初から、出席番号順の座席でしたが、中間考査のテスト返却が終わり、一区切りついたので、今年度初めての席替えを実施しました！

席替えの結果、今まであまり接点が生じてこなかったクラスメイトと、新たな座席でおこなわれる授業のペアワークやグループワークで改めて出会うことになった生徒も少なからずいるようです。はやくも6月中旬になろうとしています、実はまだ入学して2か月と少し。席替えをきっかけに、新しい交友関係が生まれるといいな、と考えています。

★★ TGG に行ってきます

4月当初に配布した年間行事予定に「TGG」と書かれている日がありますが、「なんだろう？」とかわられていた御家庭も少なからずあったのではないかと思います。

「TGG」とは、「東京都教育委員会と株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY が提供する、まったく新しいタイプの体験型英語学習施設」のことで、学校行事として行われる校外学習です。

参考サイト【<https://tokyo-global-gateway.com/>】

様々なテーマのアクティビティがあり、クラスで班分けを行って、班ごとに2つのアクティビティを体験します。施設内では、すべて英語を使います。担任は離れ、班に1名の「エージェント」と呼ばれる、外国人スタッフが付き、班の活動を助けてくれます。ただし、エージェントと会話するにも英語を使用します。1日だけの短い体験ですが、生徒の英語に対する意識を改革できる、意義ある経験になってほしいと願っています。

★★ 実は、もうすぐ期末テスト…

中間考査が終わり、面談週間でも「次の期末考査に向けては、このように改善します」という言葉が生徒から出ていました。その期末考査まで、実はあと数週間しかありません。

日々の授業が、考査のテスト勉強になるという流れを、ぜひ忘れることなく、日々の小テストや課題に取り組んで欲しいと考えています。中間考査の結果を振り返って、「暗記を頑張ります」と述べる生徒もいましたが、「暗記」を頑張っても、結果にはつながりません。「なぜ、このようになるのか」という思考を行うために、知識は使われます。「思考力」を求める授業も数多く行われています。

中間考査の反省を踏まえて、期末考査への意識改善が求められます。

★★ 7月には模試も！

そして、期末考査後には、高校入学後はじめての「模試」が実施されます。この模試は、大学受験対策へ向けた、第一歩です。現在、各教室には、進路指導部より「模試の位置づけ」について、生徒向けの通信が掲示されています。廊下には、数学科と英語科より、定期考査と模試の違いについて伝える掲示が行われています。6月に実施される保護者会でも、模試について進路部よりお話をいただく予定です。

高校は、生徒の「進路」の通過点です。生徒一人一人が、実現したいと思い描く未来のために、力を尽くしたいと考えています。意義ある、模擬試験となるように、継続して生徒には意識づけを行っています。

進路指導部から
都立成瀬高等学校進路指導部

7月5日には、進研模試を受験します。

「皆さんの目標は、何点？」

1年生に関しては、志望校を記入する欄はありませんが、何の目標もなく、ただ受けても意味がありません。自分が目標としている大学に合格した先輩方が、この時期何点取っているのかを知り、その点数を目標として、1点でも近づけるように努力することが大切です。模擬試験の機会も、多くありませんので、一回一回を大切に受験してください。

参考 例年の進研模試7月の平均点は約105点(300点満点)

各グループの目標値

到達目標偏差値	主な大学	3科目合計点(300点満点)
70～	東京・京都・早稲田・慶應義塾など	186～
60～	千葉・横浜国立・GMARCHなど	150～
50～	宇都宮・京成・日東駒専など	105～

⑤ GMARCH・早稲田・明治・青山学院・立教・中央・法政
日東駒専・日本・東洋・駒専・専修

一般的に、全受験生を1000人と仮定すると、
偏差値70の人は、22～23位
偏差値60の人は、158～159位
偏差値55の人は、308～309位

47期生の皆さんも、目指してみませんか？

①模試に向けての対策、②最後まで諦めない受験姿勢、③終わったらすぐ模試の復習
この3つの行動がとても大切

進路指導部から
都立成瀬高等学校進路指導部

何のために模試を受験するのでしょうか

1年生の皆さんにとっては初めてのとなる模試模試が、7月5日に実施されます。皆さんは、何のために模試を受験しているのか知っていますか？ 真っ先に挙がるのが、「全国での自分の位置を確認するため」という理由です。確かに、自分の位置を知ることは、とても大切ですが、その理由だけで受験してしまうと「受けっぱなし」で終わってしまいます。送迎された結果をみて、「よかった」とか「悪かった」とかで終わってしまうのであれば、受験する意味がありません。結局に言えば、結果なんか二の次で構いません。その結果を見て適度に落ち込む必要はありませんし、志望を変更する必要はありません。

では、模試試験を受験する最も重要な理由は何なのか。それは、
「自分の弱点を知り、その穴を埋めること」

そのために、具体的にやるべきことを挙げておきます。

- ① 模試に向けての対策**
特別な準備は、必要ありません。これまでの授業の復習や各分野のチェックなど、普段通りの勉強で構いません。定期考査の動きをしなくても大丈夫な気持ちで構いません。何もせずに模試を受験することは避けてください。
- ② 最後まで諦めない受験姿勢**
家に、本書を先讀して模試に臨むことが大切です。大学入試は、落とすための試験です。高校入試とは、全く違います。たまたみ点で数人が不合格になってしまう状況の中、最後まで1点にこだわって受験できる力が鍵となります。
- ③ 終わった後すぐ模試の復習**
大切なのは、模試結果を目にすると解き方がわかるので、その目的に自己採点ができます。必ずその目的に自己採点する習慣をつけなければ、結果の誤差を待つ必要もなく、すぐにできなかったところを復習し、復習ができるのです。復習が済んだら、また「全分野模試」の模試し、もう一度復習。点で表すように復習する。結果が返ってきたら、まず「全分野模試」の模試し、もう一度復習。点で表すように復習する。結果が返ってきたら、まず「全分野模試」の模試し、もう一度復習。点で表すように復習する。結果が返ってきたら、まず「全分野模試」の模試し、もう一度復習。

これを模試に繰り返して復習していく、自分の弱点を知ることが、その穴を埋めることができるのです。これが、模試試験を受験する最大の理由です。最後の復習になります。

進研模試は平均点が約35点になるように作られています

←進路指導部からの通信
(各クラス黒板に掲示中)

↓数学科から(廊下に掲示中)

7月の進研模試に向けて

①②は数Aの授業で扱います
③は解いてみてね！(解答は...)

入試は傾向と対策!!

<解答用紙見本>

解答用紙の記入方法や注意事項が記載された書類が複数枚貼られています。

↓英語科から(廊下に掲示中)

7月実施模試対策 from 英語科

2枚目まで!!

その② ~b/5(±)まで

昨年7月に実施した問題の2ページです。
是非、挑戦してみてください。

目安解答時間: 15~20分
目標正解率: 40~50%

出席No.を書いて下さい。
来週 解答・解説を渡します。

模試の答えと解説を渡します。

★★ 文化祭も、実は近づいている！

現在、日々の学習と並行して、9月に実施される文化祭企画を、各クラスで考えている最中です。

成瀬高校では、文化本部の生徒が主体となり、各クラスや部活動・有志団体から提出された企画書を精査して、「櫛祭・文化部門」を運営しています。先日、文化本部への企画書提出が行われましたが、クラスによっては企画書が通らず、再考となりました。

たくさんの意見をまとめたり、実現可能な内容であるかを見極めたり、どのクラスも試行錯誤をしている様子が見られます。担任団も、このあと、どのようにまとまってくるのか、様子を見守っているところです。今後の学年通信でも、生徒の動向をお伝えしていきます！ 御期待ください。

【参考】2023 年度・櫛祭の実績 [特設！成瀬高校文化祭](#) | [東京都立成瀬高等学校](#) | [東京都立学校 \(metro.ed.jp\)](#)

【2024年度 櫛祭・文化部門 実施予定日】 9月7日(土) 9月8日(日)

★★ 今後の予定 (防犯の観点より、具体的な日時は割愛いたします。配布した年間計画を御確認ください)

6月:TGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY)

6月:保護者会

*前々回の学年通信で「学校公開日の午後に設定を予定しております」と表記してしまいましたが、今年度の保護者会は、学校公開日とは別日に保護者会が設定されておりました。(当日は土曜授業日ですが、学校公開は実施されません)。誤表記をしまい、申し訳ございませんでした。

7月:期末考査

7月:模試

7月:終業式

7月:夏期休業、開始

【次回更新予定】

次回は、6月20日頃に「TGG の様子」をテーマに更新いたします。

